

第85回 記念定期演奏会

ワグネル・ソサイエティ・ OBオーケストラ

指揮 井崎正浩

ブラームス／悲劇的序曲

ドヴォルジャーク／チェロ協奏曲 (Vc. 丸山泰雄)

ブラームス／交響曲第2番ニ長調

2019年3月16日(土) すみだトリフォニーホール
14:00開演(開場13:30)
全席自由 ¥2,000

すみだトリフォニーホール
大ホール

JR総武線「錦糸町駅」北口／東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」出口3 徒歩約5分

チケット扱い トリフォニーホールチケットセンター TEL.03-5608-1212
チケットぴあ (Pコード: 136-791) TEL.0570-02-9999
お問合せ先 演奏会事務局 TEL.03-3391-9210

WSOホームページ <http://www.wagner-ob.jp>
WSOメールアドレス office@wagner-ob.jp



井崎正浩 指揮
Izaki Masahiro

現在ハンガリーを拠点にヨーロッパ、日本各地で活躍を続ける指揮者。2007年よりハンガリー・ソルノク市の音楽総監督を務め、同市の音楽・文化団体を総括する重責を担い、Newsweek紙や「音楽の友」誌において海外で活躍する日本人として掲載される栄誉を得た。最近ではロシア・ナショナル管、ベルリン響、デュッセルドルフ響等への客演も行い国際的な展開を行っている。

1995年第8回ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝。コンクール中の演奏を国立オペレッタ劇場総裁に認められ、同年同劇場でレハール作曲《メリー・ウイドウ》を指揮しセンセーショナルなデビューを飾る。これまでハンガリーの主要オーケストラ及び国立歌劇場に次々と客演してその名を確立し、ソルノク市からは文化功労賞「カポシヴァーリ・ジュラ賞」を、ハンガリー政府より大統領名での「金十字功労勲章」(民間人に与えられる最高栄誉)を授与されている。

日本では1996年1月、東京シティ・フィルのニューイヤー・コンサートでのデビューを皮切りに、読売日響、日本フィル、東京フィル、東響、九響、セントラル愛知響等の主要オーケストラに次々と連続客演して定評を得ており、その手腕を高く評価されている。当団との共演は今回が8回目である。



丸山泰雄 チェロ
Maruyama Yasuo

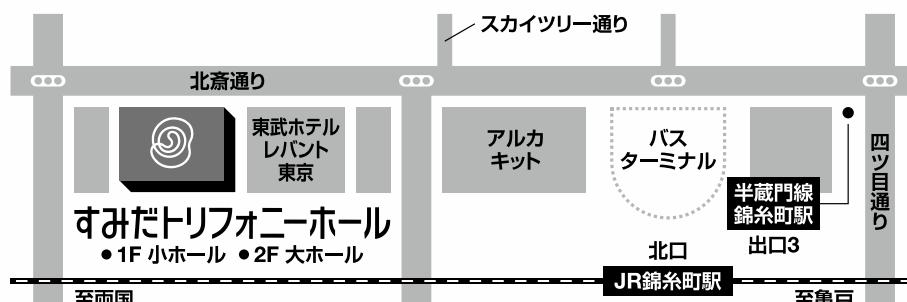
87年東京芸術大学音楽学部卒業。89年第58回日本音楽コンクール第1位、増沢賞・特別賞を受賞。イタリア パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール第3位、特別賞受賞。ドイツ マルクノイキルヒエン国際チェロコンクール特別賞。92年「東京国際音楽コンクール」第2位及びアサヒ・ビール賞を受賞。第2回日本室内楽コンクール第1位及び特別賞受賞。92年9月より文化庁海外研修員としてベルリン芸術大学に留学、ディプロマを最高位で取得。現在、ソロを中心に室内楽、主要オーケストラの客演首席で活躍中。紀尾井シンフォニエッタ東京、トウキョウモーツアルトプレーヤーズ(首席)のメンバー。07年にRMMシリーズ5作品目となるソロCD「ラメンタツイオ チェロ・ヴィルトゥオーゾIII (RMM-105)」、08年にはRMM-103以来となるチェリスト12名による演奏「スーパー・チェロアンサンブル・トウキョウII トゥナイト～アディオス・ノニーノ (RMM-106)」を発表、絶賛販売中。



ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ

これまで定期演奏会では中山富士雄、團伊玖磨、山本七雄、ロバート・ライカー、朝比奈千足、斎藤純一郎、飯森範親、三原明人、藤崎凡、新田ユリ、飛永信康、新通英洋、鈴木清三、中川賢一、矢崎彦太郎、大塚正昭、川本貢司、田久保裕一、横島勝人、武藤英明、小泉和裕、山田和樹、角田鋼亮、本名徹次、寺岡清高、井崎正浩、松尾葉子、飯守泰次郎、大山平一郎、金洪才、佐伯正則、田部井剛の各氏に指揮をお願いした(初出演年代順)。

定期演奏会の他にも他合唱団体との特別演奏会、(社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)の加盟団体として連盟主催行事への有志参加など、意欲的な演奏活動を続けている。



JR総武線「錦糸町駅」北口
東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」出口3
徒歩約5分

※就学前のお子様の客席への
ご入場はご遠慮いただいております。